

www.asa.in

ASA
Going The Extra Mile

bakertilly
NETWORK MEMBER

2024年 インド暫定予算案

This is a synopsis of the India Interim Budget 2024. The India Fiscal Budget 2024-25 (annual fiscal budget) shall be presented post the general elections, by the newly elected government.

前書き

改革、実行、そして変革



選挙を間近に控えていることから予算は抑制的なものとなったが、財務大臣は2014年以来の政府の信念に新たな要素を加えた。“SABKA SAATH, SABKA VIKAS” (共に繁栄しましょう) に、今度は“SABKA VISHWAS” (すべての信念によって) が加わった。これは、選挙の合言葉として裏付けられており、「我々は、その驚異的な業績に基づき、人々から再び力強い支持を得ると期待している」という叫びが続いた。その後、スピーチは包括的な発展と社会的正義への取り組みを強調するフラッシュバックに移った。

貧困層、女性、若者、農民という4つのカーストに分けられる。34兆ルピーの直接給付によって政府は2.7兆ルピーを節約し、1,800万人の農民に直接資金援助が行われ、1,400万人の若者のスキルが向上した。タイムリーなインフラ整備、デジタルの推進、金融部門の強化、GST(物品・サービス税)などの規制の成功についても言及された。

こうして、財務大臣は、新しく任命された4つのカーストと、それに劣らぬ手際の良さで経済界に語りかけた。2024年から25年にかけての政府によるインフラ支出はGDPの3.4%とされ、4万両の鉄道台車が新しい高速鉄道(ヴァンデ・バーラト)規格に転換される予定であるほか、新しい鉄道回廊、航空、地下鉄の接続性、グリーンエネルギー、ブルーエコノミーなどが引き続き重視される。

観光分野では、国内観光客の需要増に対応するためのラクシャドウィープ諸島の開発などに深い言及があった。

国防は特に推進され、デジタル・インドはインド経済を正式なものにする鍵である。彼女はさらに、屋上太陽光発電、医科大学、農業・食品加工などについても言及した。

国内外を問わず、重要な課題に対する把握力を持っていることは現政権の功績である。財務大臣の言葉を引用すると「地政学的には、戦争や紛争によって世界情勢はより複雑で厳しいものになっている。グローバリゼーションは、リショアリング(RESHORING)とフレンド・ショアリング(FRIEND-SHORING)、サプライチェーンの混乱や分断、重要な鉱物資源や技術の競争などにより再定義されつつある。パンデミックを経て、新たな世界秩序が形成されつつあるのだ。」これに続き、インド-中東-欧州経済回廊が具体的に再言及された。地政学は同様に、そして賢明にも注目されている。

既存の税率や規制に変更はなかったが、財務大臣は多くの小規模納税者の足かせを取り除いた。財務大臣は、2009-10年度までの課税額が25,000ルピー未満、および2010-11年度から2014-15年度までの課税額が10,000ルピー未満の納税者に対する長期にわたる所得税請求の取り下げを発表した。さらに、既存の4つのカーストに下層の中間層の従業員/自営業者という新たなカーストを静かに加えたようだ。しかし、これは歓迎すべき改正であり、不必要な煩雑さを削減することになる。

2024-25年の財政赤字はGDP比5.1%と予測されているが、2025-26年の目標が4.5%であることを考えると、あまり楽観できない。心配ではあるが、経済が活性化すれば生活できる。

政府、そして分裂した野党が選挙に向けて最善を尽くすことを祈る!

Ajay Sethi

税制改正

本セクションでは、2024年2月1日に財務大臣が発表した直接税と間接税に関する重要な提案を要約している。2024年財政法案における直接税の規定は、通常、2024年4月1日に開始する会計年度（2025-26年度）に適用されるのに対し、間接税の規定は、別段の定めがない限り、直ちに適用される。

財政法案に含まれる提案は、国会の批准を条件とする。



直接税

所得税

- 個人所得税およびHUFの基本税率は従前と変更なし

旧制度		新制度	
所得範囲(ルピー)	税率 (%)	所得範囲(ルピー)	税率 (%)
Upto 250,000 ¹	Nil	Upto 300,000	Nil
250,001 - 500,000	5	300,001 - 600,000	5
500,001 - 1,000,000	20	600,001 - 900,000 ²	10
		900,001 - 1,200,000	15
1,000,001 and above ³	30	1,200,001 - 1,500,000	20
		1,500,001 and above ⁴	30

¹高齢者 (60~80歳の個人) に対する基礎控除額も、30万~50万ルピーと変化なし

²個人、HUF、社団法人 (共同事業体を除く)、個人団体、人工法人に対する割戻し限度額は、新体制下でも変わらず70万ルピーである。

³500万~1,000万ルピー超の所得には10%、1,000万~2,000万ルピー超の所得には15%、2,000万~5,000万ルピー超の所得には25%、5,000万ルピー超の所得には37%のサーチャージが課される。

⁴新制度でもサーチャージの上限は25%のまま。

- パートナーシップ企業、地方自治体、協同組合の税率は変更なし。協同組合の場合、1,000万ルピー以上の所得に対するサーチャージは7%、1億ルピー以上の所得に対しては12%に据え置き。その他の場合、所得が1,000万ルピーを超える場合、サーチャージは12%となる。

- 法人税率に変更なし。

法人形態	税率 (%)
内国法人 ¹	
▶ 特定の売上高/総収入限度額	25 ²
▶ その他	30
外国法人	40 ³

¹サーチャージは、課税所得が1,000万ルピーを超える場合は7%、1億ルピーを超える場合は12%と、従前から変更なし。

²会計年度2022-23において、売上高が40億ルピーまでの企業に対しては、軽減税率が適用される。

³サーチャージは、課税所得が1,000万ルピーを超える場合は2%、1億ルピーを超える場合は5%と、従前から変更なし。

- 軽減税率スキームに変更なし。

法人形態	税率 (%)
内国法人および協同組合 ¹	
▶ 新規製造開始企業	15 ²
▶ 新規製造開始協同組合	15 ³
▶ その他	22

¹Chapter-VIAの各規程による税額控除は、軽減税率を利用する場合には適用不可。サーチャージは10%。

²2019年10月1日以降に登記され、2024年3月31日までに製造 (発電を含む) を開始する企業に対して、一定の条件を満たす場合、軽減税率の適用が可能。

³2023年4月1日以降に設立され、2024年3月31日までに製造を開始する協同組合に対して、一定の条件付きで軽減税率を適用する。

その他

- 2009-10年までは25,000ルピー未満、2010-11年から2014-15年までは10,000ルピー未満である納税者に対する長期未納の所得税督促の取り下げ。
- 2024年3月31日から2025年3月31日まで期限延長。
 - ▶ 対象となる新興企業の法人化。
 - ▶ 所得が免除されていたオフショア・バンキング・ユニットの投資部門による業務開始。

- ▶ 航空機または船舶のリースに従事するIFSC内のユニットによる事業開始。
- 自由化送金スキーム (LRS) による送金に対するTCSの適用と税率に変更なし。

送金種別	TCS 税率	
	70万ルピーを上限とする支払い	70万ルピー以上とする支払い
ローンによる教育目的	Nil	0.5%
治療・教育目的 (ローン以外)	Nil	5%
治療・教育目的 (ローン以外)	5%	20%
その他の目的	Nil	20%

間接税

GSTおよび輸入関税の税率に変更はない。

物品・サービス税

- 改定
 - ▶ インプットサービスディストリビューター (ISD) は、現在、法人の同じ PAN (Permanent Account Number) の下で、他の事業所のために、または他の事業所に代わって、商品やサービスを受け取る者と定義されている。このような者も ISD として強制登録される。
 - ▶ ISD による Input Tax Credit (ITC) の分配は、規定される制限や条件とともに、その方法に基づいて行われる。
 - ▶ 特定商品の製造に使用される特定の機械の登録を怠った場合の罰金徴収に関する新条項が導入された。

商業 & 貿易

農業

- 補助金なしの国産肥料であるNANO DAPの施用を全農業気候地帯に拡大する。
- 油糧種子の高収量品種を対象とした研究により、近代的農業技術、市場との連携、調達、付加価値、作物保険の普及を促進する。
- 陸上養殖と水産養殖の生産量を、現在の1ヘクタールあたり3トンから5トンに増やすことで、輸出を2倍の1兆ルピー（120億5000万米ドル）に増やし、550万人の雇用機会を創出する。

社会開発

- インドの農村部の貧困層に住宅を提供するため、PM AWAS YOJANA (グラミン)のもと、今後5年間で2,000万戸の住宅が追加予定。
- 1,000万世帯を対象に屋上太陽光発電が実施され、以下のようなメリットがある：
 - ▶ 予算案に合わせて“毎月300ユニットまで電量を無料利用可能”。
 - ▶ 世帯の年間節約額は最大18,000ルピー (217米ドル)と推定される。
 - ▶ 電気自動車の充電を可能にする。
 - ▶ 供給と設置に携わる業者の起業家精神を奨励する。
 - ▶ 技術技能を持つ若者の雇用創出。
- 新興分野における研究と技術革新の拡大を奨励するため、1兆ルピー (120.5億米ドル)の基金を設立し、50年間の無利子融資を認める。

インフラ

- 7500億ルピー (90.4億米ドル)を50年間の無利子融資とし、節目となる改革を行う州政府を支援する。
- 物流効率の向上とコスト削減のため、3大経済鉄道回廊計画を実施予定：
 - ▶ エネルギー、鉱物、セメント回廊
 - ▶ port connectivity corridors (港湾連絡通路)
 - ▶ high traffic density corridors (高交通密度道路)
- 40,000両の普通鉄道台車をVANDE BHARAT規格に改造し、乗客の安全性、利便性、快適性を向上させる。

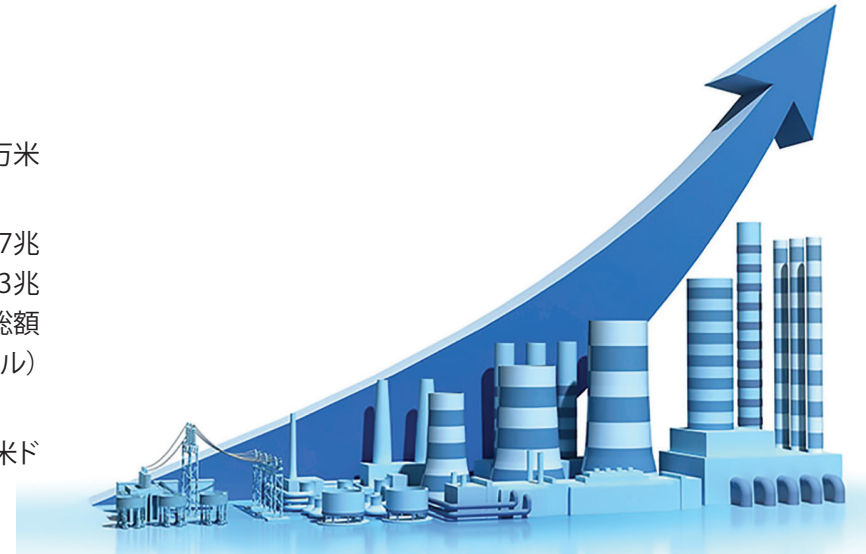
グリーンエネルギー

- 2070年までに“ネット・ゼロ”を達成するための以下のコミットメント：
 - ▶ 初期容量1ギガワットの洋上風力発電の可能性を活用するためのバイアビリティ・ギャップ資金が提供される。
 - ▶ 天然ガス、メタノール、アンモニアの輸入を削減するため、2030年までに100MTの石炭ガス化・液化設備を設置する。
 - ▶ 輸送用圧縮天然ガス (CNG)と家庭用パイプライン天然ガス (PNG)への圧縮バイオガス (CBG)の混合が段階的に義務化される。
 - ▶ 回収を支援するためのバイオマス集積機械の調達に資金援助が提供される。
- バイオ製造とバイオ鑄造のスキームを立ち上げ、消費型の製造パラダイムを再生原理に基づくものへと転換するための環境に優しい代替案を提供する。

財政管理

- 資本支出は11.1%増の11兆1,100億ルピー (1,338億6,000万米ドル)で、GDPの3.4%に相当する。
- 2023-24年の歳入総額 (借入金を除く)の修正見積もりは27兆5,600億ルピー (3,320億5,000万米ドル)で、うち税収は23兆2,400億ルピー (2,800億米ドル)である。2023-24年の歳出総額の修正見積もりは44兆9,000億ルピー (5,409億6,000万米ドル)である。
- 2023-24年の歳入収入は30兆300億ルピー (3618億1000万米ドル)となった。

- 2023-24年の財政赤字の修正見積もりはGDP比5.8%。
- 2024-25年の総予算収入 (借入金を除く)と総予算支出は、それぞれ30兆8,000億ルピー (3,624億1,000万米ドル)と47兆6,600億ルピー (5,742億2,000万米ドル)と見積もられている。税収は26兆200億ルピー (3,134億9,000万米ドル)と見積もられている。
- 2024-25年の財政赤字はGDPの5.1%と推定される。
- 2024年から25年にかけての有価証券による市場からの借入総額は14兆1,300億ルピー (1,702億4,000万米ドル)、純額は11兆7,500億ルピー (1,415億7,000万米ドル)と見積もられている。



About Us

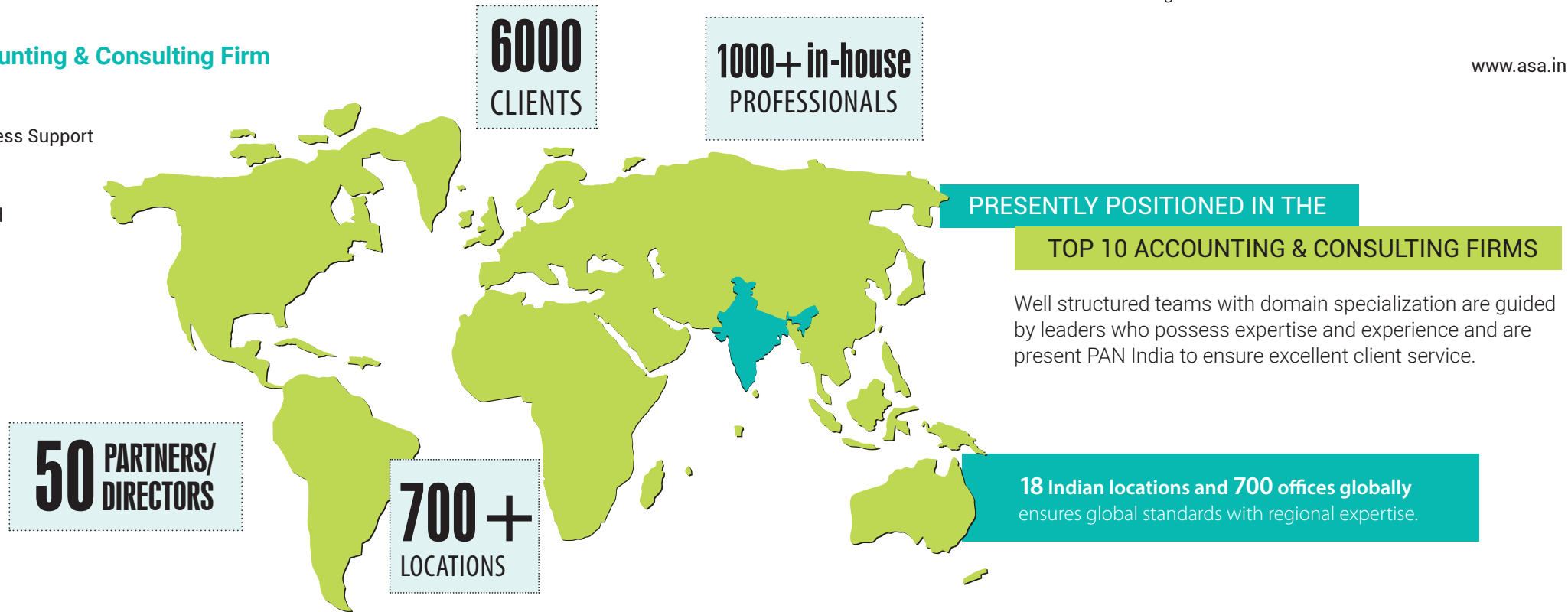


A full service Accounting & Consulting Firm

Services

- Accounting and Business Support
- Assurance
- Business Advisory
- Digital Automation and Transformation
- Risk Advisory
- Taxation
- Transaction Advisory

www.asa.in



National Affiliates : Bhubaneswar, Chandigarh, Pune and Vishakhapatnam

New Delhi

Aurobindo Tower
81/1 Third Floor Adchini
Aurobindo Marg
New Delhi 110 017 INDIA
T +91 11 4100 9999

Sunil Arora
sunil.arora@asa.in

Ahmedabad

306-B, Pinnacle Business Centre
Corporate Road, Prahlad Nagar
Ahmedabad 380 015 INDIA
T + 91 79 4891 5409

Himanshu Srivastava
himanshu.srivastava@asa.in

Bengaluru

53/B, LOLS Citadel Level 2 & 3
1st Main Road, 3rd Phase
Sarakki Industrial Layout, J P Nagar
Bengaluru 560 078 INDIA
T +91 80 4907 9600

D. Ramprasad
ramprasad.d@asa.in

Chennai

Unit No. 709 & 710,
7th Floor 'BETA Wing'
Raheja Towers, New Number - 177
Anna Salai, Chennai 600 002 INDIA
T +91 44 4904 8200

DK Giridharan
dk.giri@asa.in

Gurgaon

Times Square Fourth Floor
Block B, Sushant Lok 1
Gurgaon 122 002 INDIA
T +91 124 4333 100

Sundeep Gupta
sundeep.gupta@asa.in

Hyderabad

Vasavi's MPM Grand, 11th Floor
Unit No 1204, Yella Reddy Guda
Road, Ameerpet, Hyderabad
Telangana 500 073 INDIA
T +91 40 2776 0423

Ramakrishna V
ramakrishna.v@asa.in

Kochi

Pioneer Tower
207-208 Second Floor
Marine Drive
Kochi 682 031 INDIA
T +91 484 410 9999

P N Ramachandra Kamath
pnr.kamath@asa.in

Mumbai

Lotus Corporate Park G-1801
CTS No.185/A, Graham Firth
Compound, Western Express
Highway, Goregaon (East)
Mumbai 400 063 INDIA
T +91 22 4921 4000

Bhushan Sharma
bhushan.sharma@asa.in